

節水洗剤やペットボトル飲料、水資源の有効活用に関する商品が増えている。フリージャーナリスト

1990年大学を卒業後出版社に入社。ビジネス書の編集などに携わったが、3年後にフリージャーナリストとして独立。かねて関心のあった水問題を中心テーマに据え、アジアやアフリカなど世界30カ国以上の渇水地域取材した。人口

蒙(けいもつ)が必要との思いからだ。8年前から全国の学校で取り組んできた水環境教育の経験が原点だ。

故郷の館林は渡良瀬川と利根川に抱かれた水都。子どもたちから両水系から取水したおいしい水道水に慣れ親しんだため、大学入学を機に上京して一番驚かされたのは東京の水道水のまずさだった。地域によって味が異なる水道水に関心

を持ち、学生時代は北海道から沖縄まで全国の水道水源を見て回った。

1990年大学を卒業後出版社に入社。ビジネス書の編集などに携わったが、3年後にフリージャーナリストとして独立。かねて関心のあった水問題を中心テーマに据え、アジアやアフリカなど世界30カ国以上の渇水地域取材した。人口

エコパースンの転機

節水商品のマーケティング支援

アクアスフィア代表

橋本 淳司氏

増加や工業化で世界の水不足が深刻さを増していることを知る。「食料や飼料の形で大量の水を輸入する日本にとってもひとつでは

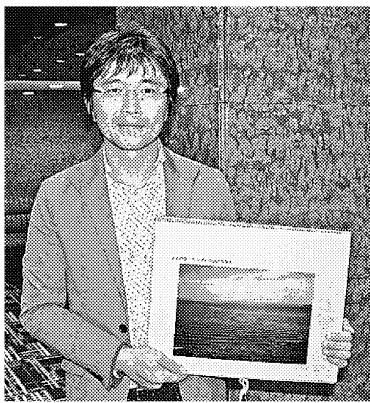
「水を大切にしている節水社会をいかにつくるかがライフワークとなる。日本の水利用の現状について情報

「02年水関係の著作を目に留めた地元の小学校から生徒に水問題について環境教育をやってくれないかとの声がかかる。「日本人が1日に使用する水の量は平均250リットルもある」「地球上に存在する水のうち、人間が利用できるのは0.01%しかない」

「水と安全はタダ」という考えになじんだ子どもたちに授業は驚きで迎えられ、「もっと水を大切にしないとダメだ」

「水の出張授業」は評判を呼び年間20〜30校を訪れるようになる。数をこなすたびに強まったのは「水の貴重さを知れば社

小学生向け授業が原点



との声がもれた。「水の出張授業」は評判を呼び年間20〜30校を訪れるようになる。数をこなすたびに強まったのは「水の貴重さを知れば社

「水の出張授業」は評判を呼び年間20〜30校を訪れるようになる。数をこなすたびに強まったのは「水の貴重さを知れば社

「水の出張授業」は評判を呼び年間20〜30校を訪れるようになる。数をこなすたびに強まったのは「水の貴重さを知れば社

(松井基一)

「水の出張授業」は評判を呼び年間20〜30校を訪れるようになる。数をこなすたびに強まったのは「水の貴重さを知れば社

(松井基一)